

2024.10～



GENERAL CATALOG

住宅用内外装自然素材 総合カタログ

焼杉
杉外装材
杉外構材
杉・桧内装材
高耐久木材
巾はぎ材

経験と想いが可能にした、 生きた素材の魅力。

湿潤で雨が多く、四季のはっきりした日本の自然。

この気候風土を背景に生まれ、長い時間をかけて育まれ、磨かれてきたのが
古来より日本に受け継がれる木の住まいです。

あの、建造後千三百年の歴史を数える法隆寺を、長年カタチを変えることなく守ってきたのも、
木造建築だからこそその為せる技です。

そして、その実績が認められ今、木の住まいの「ゆとり」「豊かさ」「感性」「耐久性」といった
木ならではの質が人々に求められています。

長年にわたって造林業を営んできた私たちは、そういった木へのニーズが高まる中、
木または森、あるいは地球と不変の共存をしていくため、植林、育林、製材、木製品の製造などを
トータル的にとらえ、循環プランを確立し、いち早く環境問題にも取り組んできました。

平成元年には、光栄にも天皇杯(林業経営部門)をはじめ様々な名誉ある賞もいただき、
更なる未来の糧として、木への思いをより一層強くしています。

心を癒す温もりとやさしさにヘルシーな快適さ、ライフスタイルに自在に応える柔軟性と創造性、
そして台風や地震に耐える秘めたチカラなどを合わせ持つ生きた素材の魅力。

私たちは、その魅力に囲まれてあたたかく生活をおくる多くの家族に末永く住んでいただくために、
自信と確信を持って商品をご提案し続けます。



外装材

内装壁材

内装造作材

内装床材

対応可能商品

メンテナンス
施工説明

Contents

- 01 ブランドメッセージ
- 03 製品インデックス
- 05 施工例インデックス
- 07 中本造林の取り組み
- 09 SDGsへの貢献
- 12 免責事項について
- 13 木材の専門用語集

- 17 **外装材**
- 19 外装用をご使用前に杉の外壁使用時の特徴について
- 23 外装材の性質について
- 23 外壁
- 43 軒下天井
- 43 外構商品

- 49 **内装壁材**
- 51 内壁
- 51 天井
- 51 押入
- 65 巾はぎ板

- 69 **内装床材**
- 71 内壁
- 71 天井
- 71 床

- 93 **対応可能商品**
- 93 対応可能商品

- 94 メンテナンス塗料・商品

- 95 メンテナンス&施工説明
- 95 木質建材を美しく保つ
- 95 日常のお手入れ
- 95 補修の仕方
- 95 施工上の注意

- 107 商品索引

- 113 会社概要

INDEX

外装材

焼杉

- 外装用をご使用前に
- 杉の外壁使用時の特徴について
- 外装材の性質について

[15mm]
●ブラシ仕上げ無塗装
●素焼無塗装
●フッ素樹脂塗装 帝王
●塗装Nブラック
●塗装BB
●浮造塗装 2号・22号

●水性塗装メタル
●水性塗装ブロンズ
●水性塗装素焼

[10mm]
●浮造塗装 21号・22号
●塗装BB
●浮造塗装 1号・2号

- 塗装Nブラック
- 塗装ブラウン

- ブラシ仕上げ
- 素焼

- 浮造クリアー A
- 浮造
- とぎだし
- とぎだし 上小無節

杉

- 羽目板外装用 無塗装
- 出隅
- 外壁・ストライプウォール

- 外壁・加工丸太
- 外壁・ジョイントウォール
- 押え縁

- 杉 型枠用
- 杉 木堀
- 杉 高耐久木材
- 桧 高耐久木材

外構商品

内装壁材

リアルウォール憩
杉羽目板
杉板・収納内壁

[9mm]
●UV塗装・無塗装
●上小無節
●焼杉
●浮造特一等
●浮造上小無節

- ラフ仕上げ無塗装
- ラフ仕上げ水性塗装

[12mm]
●UV塗装・無塗装
●上小無節

- UV塗装・無塗装
- 上小無節・無節

桧 羽目板

羽目板部材 杉・桧

- 巾木
- 笠木
- 出隅

- 付け巾木
- 廻り縁

巾はぎ板

- 杉巾はぎ板
- 桧巾はぎ板

P.19

P.23

P.25

P.27

P.29

P.31

P.33

P.35

P.37

P.41

P.43

P.51

P.53

P.55

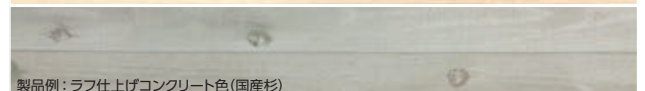
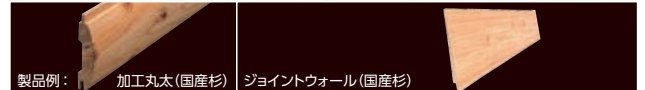
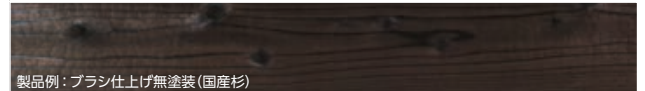
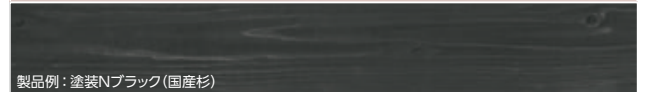
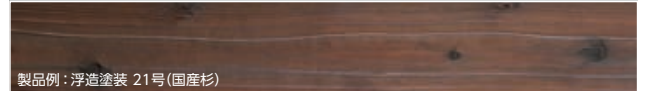
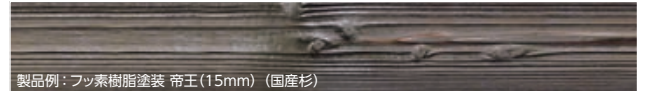
P.57

P.59

P.61

P.63

P.65



内装床材

杉フローリング

- [30mm]
- UV表面強化塗装
- 自然塗装
- 無塗装

P.71



杉 本実加工

- UV表面強化塗装
- 自然塗装

P.73



- 無塗装

P.75



- カラー塗装

P.77



桧フローリング

- N塗装
- 無塗装
- 上下無節・無節

P.79



玄関廻り部材

- 上り框
- 玄関巾木
- リフォーム框

P.81



オークフローリング

- UV塗装・自然塗装
- 無塗装
- エコノミー

P.83



西南桜

フローリング

- UV塗装・自然塗装
- 無塗装
- エコノミー

P.85



ウォールナット

フローリング

- UV塗装・自然塗装
- 無塗装

P.87



床暖房対応

フローリング

- ナラ
- サクラ
- ビルマチーク

P.89



玄関廻り部材
洋風フローリング用

- 上り框
- 玄関巾木
- リフォーム框

P.91



対応可能商品

対応可能商品

- 不燃・準不燃商品

P.93

メンテナンス商品

P.94

メンテナンス&施工説明

P.95

会社概要・沿革・ホームページのご案内

P.113

CONSTRUCTION PORTFOLIO

外装材

焼杉、杉板、杉羽目板外装用、軒下天井 施工例



内装壁材

リアルウォール憩 杉羽目板、桧羽目板 施工例



内装床材

杉フローリング、杉本実加工、桧フローリング 施工例



中本造林の取り組み

再生可能な資源(森)づくり

近年、世界中で深刻な問題となっている「地球温暖化」。
そんな中、地球温暖化防止対策の一環として、
森林保全・整備のより一層の推進が求められています。
愛すべき郷里・広島県吉和村(現廿日市市)でスギの穂苗を植え始めて、約80年。
私たち中本造林ではこの美しい森を守り育むことにより、地域の伝統や文化を伝承し、
さらにはこの美しい地球の未来を守り不変の共存をしていくために、
植林から販売までをトータル的にとらえ、
持続可能な森林経営に、より一層真剣に取り組んでまいります。

緑の循環



広島県内外の約2,000ヘクタールにおよぶ山林に、森林の形態や地域の特性に配慮した木を植林し、大切に育てていきます。

下刈り・雪起こし・蔓切り・枝打ち・間伐といった様々な造林作業を、森の状況を見ながら計画的に行ないます。間伐(立木の間引き)のために伐られる木材も、製品の素材として活用します。

木の成長を見極め、森の適切な管理のために伐採します。中本造林では近年、より高品質の木材を生産するために、対象区域の樹木を全て伐採する「皆伐」を止め、100年伐期の林業経営を目指しています。

天皇杯受賞 経営理念と地域への貢献

平成元(1989)年、中本造林は第28回農林水産祭の林産部門で栄えある天皇杯を受賞しました。農林水産祭は、広く農林水産業に対する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展への意欲高揚を図ることを目的とする国民的祭典です。昭和37(1962)年に天皇杯が農林水産業者にご下賜されたのを機会に始められました。毎年11月23日の勤労感謝の日を中心に開催され、農産、園芸、畜産、蚕糸、林産、水産、むらづくりの各部門で天皇杯が授与されます。

独自の五高林業を理念として、苗木の生産から森林の育成、木材の生産・加工から販売まで自社で一貫して行い、得られた収益を再び森林に投入して経営基盤の確立に努めていること、また、地域の安定雇用確保など、地域への貢献も果たしていることが評価されての受賞です。



サミットへの材料提供

令和5(2023)年5月に開催されたG7広島サミットで使用された首脳会議用円卓テーブルの材料を弊社が納材し、株式会社マルニ木工様が製作されました。このような形で携われた事に深く感謝し、今後の社業発展に努めてまいります。



収穫した木材は、木の特質ごとに柱、板材などに製材されます。厳しい品質管理により、一定の品質を確保することで、価格の安定につなげます。

製材した木材を適切に乾燥させ、各用途にあわせて表面に磨きをかけたり、細かな寸法に加工します。加工された製品の大半は、全国各地で販売されます。

販売で得られた収入をもとに新たな森林の整備を行い、再び造林作業に還元されます。さらに家を解体する際には、古い木材の一部を再利用することができます。

SDGsへの貢献

中本造林株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

木材のプロとして

古来より日本の住まいの材として、私達の暮らしを支えてきた木を取扱うプロとして、木とともにある生活の実現に貢献してまいります。

【主な取組み】

- ・クリーンウッド法の順守による合法木材の利用促進
- ・植林から販売までをトータル的に行うことによる、持続可能な森林経営の実践



安心して働ける職場

自然を相手にする企業として、社員への教育や、健康向上に寄与する社内活動により、安心して働ける職場を創造してまいります。

【主な取組み】

- ・階層別に定めた社内外の研修の実施及び参加
- ・社員の健康向上のためソフトボール大会やボウリング大会の開催、年一回のメンタルヘルスチェックの実施などの健康経営の実践



森林の恵みを未来に伝える

美しい地球を守り、不変の共存を目指した事業活動を通じて、豊かな日本の森林の恵みを後世に伝えてまいります。

【主な取組み】

- ・エコリーフ環境ラベルプログラムに配慮した事業活動、カーボンフットプリントの認証取得等の環境配慮活動
- ・PEFC、SGECの認証取得による持続可能な森林経営、健全な森林の育成の実施



愛すべき郷土のために

地元の活気、地元の経済の向上に向けた様々な社内外を問わない活動により、豊かな郷土の実現に注力してまいります。

【主な取組み】

- ・自社が所有する山林における「緑の循環」の実施による地元産材の利用
- ・地元の人材の積極的な採用による地域雇用・経済発展への貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を 17 の目標と 169 のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。

作るSDGs



SDGsへの取り組みとPEFC-CoC認証取得

現在、「持続可能な開発目標SDGs」が、世界が取り組むべき重要な課題となっていますが、持続可能な森林管理の実現は目標達成に不可欠な取り組みになっています。

国際森林認証制度PEFCは、世界の、そして地域の森林を対象に、森林認証を通じて持続可能な森林経営を推進する世界最大の森林認証制度です。

世界で3億2千万ヘクタール以上のPEFC認証林が国際的に認められた持続可能性の基準に基づき認証されています。

PEFCは、森林の可能性を最大限に発揮させることで、SDGsの達成に貢献します。

当社においては、2019年にPEFC-CoC認証を取得し、持続可能な開発目標SDGsへの取り組みをさらに拡大するための活動をすすめております。



※国際的な森林認証制度の1つであるPEFCは、1992年の地球環境サミットの流れを受け1999年に創設された制度で、それぞれの国で作られている国内の認証制度を尊重し、その規格がPEFCの要求するレベル以上であれば承認するという仕組みです。
※日本の森林認証制度であるSGECの規格は2003年に国内最初で唯一の規格として作られ、2016年にPEFCの承認を受けました。
弊社では、太田川流域ネットワークのメンバーとして、2007年にSGEC-FMの認証を取得しています。

エコリーフ環境ラベルプログラム※への参画

当社では、2019年初めよりエコリーフ環境ラベル・カーボンフットプリント(CFP)※の取得に向け取り組んで参りました。

2020年4月本社工場と徳島工場で生産している主力商品の1つの焼杉(素焼、ブラシ仕上げ、浮造り)において『木質外壁材』としては業界初のエコリーフ(国際標準規格ISOに定めるタイプⅢ環境ラベルISO14025に準ずる)並びにCFPの取得をすることが出来ました。

今後とも環境に考慮し、SDGs、ESGなどの国際的な指針に沿った製品づくりを心掛け、定量的環境負荷データの情報開示を行ないながら国産材無垢製品の拡販に取り組んで参ります。



※エコリーフ環境ラベルプログラムとは製品の原料調達・生産・流通・使用・廃棄までにかかる様々な環境影響(気候変動、オゾン層破壊、酸性化)等その他の環境領域も含めた『見える化』する仕組みです。
※カーボンフットプリント(CFP)とは製品の原料調達・生産・流通・使用・廃棄までにかかる温室効果ガスをCO₂換算して『見える化』する仕組みです。

クリーンウッド法への対応

同法は、我が国又は原産国の法令に適合して伐採された樹木を材料とする木材・その製品の流通及び利用を促進することを目的として、対象となる木材等や木材関連事業者の範囲、登録制度等を定めるとともに、木材関連事業者や国が取り組むべき措置について定めています。

当社は合法伐採木材等の利用を確保するための措置を、適切かつ確実に講ずる者として木材関連事業者登録(第1種、第2種)を行ない、さらなる合法木材の利用促進に取り組んでいます。



※上記詳細につきましては、弊社ホームページ「中本の取り組み」からご覧いただけます。

<https://www.nakamotouzourin.co.jp/approach/>

使うSDGs



木材の活用

自然素材の特性

豊富な森林に囲まれた風土と、長い歴史の中で磨かれてきた木造住宅。「温もり」や「安らぎ」を与えてくれる木の家で、わたしたちは暮らしてきました。しかし、現代はライフスタイルの多様化や環境の変化から、一般的に強度や安全性に優れているといわれるコンクリートや鋼材などの住宅が増えていきます。

実際に、新しい建築素材に比べて木材は劣っているのでしょうか？「温もり」や「安らぎ」だけではない木のすばらしい特性をご紹介します。

木材の長所

- 比重が小さい(軽い)
- 比重に対して強く・バランスが良い
- 調湿作用がある
- 熱伝導率が小さく断熱性が高い
- 加工しやすい
- 耐久性に優れている
- 人や環境に優しい

木材の短所

- 燃えやすい
- 腐朽しやすく、虫害がある
- 割れや変形がある
- 材質が不均一

健康で暮らしやすい住環境の実現

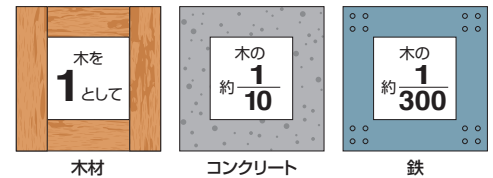
快適性

Amenity

天然のエアコン。
人に優しい木の家。

四季の移ろいがある日本において、住宅は夏涼しく、冬暖かいことが重要です。その中で、木材の断熱性は、断熱材に匹敵するほど優れています。熱の伝わりやすさを示す値の「熱伝導率」で見ると、なんと鉄の約1/300、コンクリートの約1/10ほどで、熱が奪われにくいことが分かります。また、木に癒し効果があるといわれるのは、日差しの反射率が適度で目に優しく、音の反響を抑える吸音作用があるほか、ヒノキオールに代表される薬用成分がダニの発生を抑制するなど様々な働きがあるからです。

●断熱性能を比較した場合(木を1とした場合)



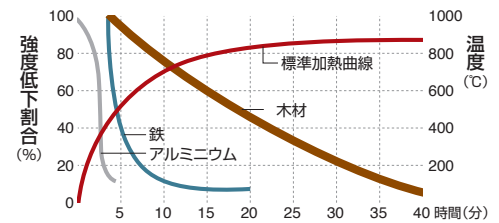
耐火性

Fire resistance

木の家は燃えにくい!?

「木の家は燃えやすい!」多くの方がそう思われているかもしれませんが、木は火に強いとは言えませんが、温度が一定のところまで上昇すると熱伝導率の高い鉄やアルミは急激に強度が落ちていきます。木材は緩やかに下がっていき、ある程度の厚さがあれば、表面が燃えた後、その部分が炭化層になり酸素が内部へ入りにくくなり燃え方が遅くなります。消防士が消火活動の際に「木造住宅より鉄骨建ての方が怖い!」というのは、鉄骨の建物のほうが倒壊しやすく、より危険を伴うことが分かっているからです。

●標準加熱試験による材料の強度低下

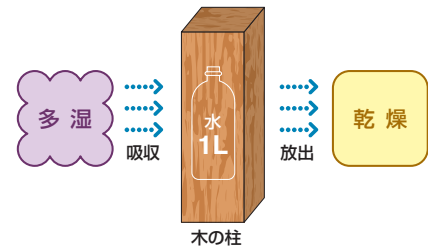


調湿性

Moisture conditioning

優れた調湿性で
快適な暮らし。

「木は呼吸する」といわれるように、木は優れた調湿作用を備え、湿度が高いときには湿気を吸い、低いときには吐いて湿度を一定に保つ働きがあります。1本の柱で約1Lもの水分を吸放出することができ、まさに木は生きて呼吸していることが分かります。また、パイプ状の細胞(道管)の集合体である木は、そのパイプの中の空気が熱の伝導を遮ることで高い断熱性を発揮します。日本のような高温多湿な環境でも、木材が湿気をコントロールしてくれるおかげで、快適な室内環境を保つことができます。

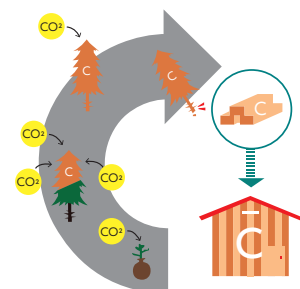


炭素の固定化

Carbon fixation

木材は炭素の貯金箱

木は自然環境のなか光合成によって成長する際に、大気中の二酸化炭素を吸収し内部に炭素を固定する機能が有ります。杉の場合、1㎡あたり314kgで、一般的な木造住宅1戸あたりに約4トンの炭素固定していることになり、大気中の二酸化炭素に換算すると約14トン固定している計算になります。建築や家具に木材を使用する事は地球温暖化対策である脱炭素に貢献していると言えます。





免責事項について

必ずお読みください。

- ①当社の施工説明書に記載された事項に反した施工、取り扱いが原因となって不具合が生じた場合。
- ②当社製品以外の部材の不具合により発生した事故。
- ③入居者(管理人を含む)および第三者による維持管理不足、ならびに故意、過失により不具合が生じた場合。
- ④工事完了後の増改築や補修、あるいは設備機器などの取り付け工事で生じた不具合。
- ⑤建物の構造上に起因する変形、変位によって生じた不具合。
- ⑥初期の損傷、あるいは不具合を長期間放置したために拡大した損傷。
- ⑦塗装工事に伴う不具合。
- ⑧台風、地震、水害、火事、爆発、地盤変動、土砂崩れなどの災害によって生じた不具合。
- ⑨製品の経年変化による汚れ、変色、割れ、欠けなど。
- ⑩結露、下地材の腐朽によって生じた不具合。
- ⑪釘部のサビによる、商品への汚染の不具合。
- ⑫木材の灰汁に起因する、基礎部分、犬走り、製品などへの汚染の不具合。
- ⑬焼杉商品は塗装品、無塗装品を問わず、裏面や実加工部分の炭が板表面に付着し、炭が手(体)や衣服などに付く不具合。
- ⑭自然木無垢材のため、現場環境、使用条件などにより若干の反りや継ぎ目に隙間、床鳴りなどが生じる不具合。
- ⑮経年変化または生活使用上から起こりうるひび割れ、ささくれなどによる事故。
- ⑯室内であっても、部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる、隙間、反り、キシミ音などの不具合。
- ⑰冷暖房等により、極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温や多湿となる部位に取り付けられことに起因する不具合。
- ⑱用途外に使用された場合の不具合。
- ⑲犬、猫、鳥、鼠などの動物の害に起因する不具合や、商品外から侵入したクイムシなどの虫害に起因する不具合。
- ⑳家具(椅子やテーブル)、キャスター付き家具、重量物の影響による割れやへこみなどの不具合。
- ㉑施工前に製品の検品(製造時のキズ等)や仮並べを実施せず施工された場合で、施工前に申し出が無く、貼り上がった後で判明する不具合。
- ㉒製造時には予測し得ない事象に起因する不具合。
- ㉓弊社製品の基準内の補修に伴う事象。(補修方法・性質等)
- ㉔その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合。

■特徴表示マークの説明

国産材	素材に国産材を使用しております。	埋木	抜け節や死節を木の枝で補修(埋める)しております。
ソリッド	つなぎ目のない1枚板です。	パテ	軽微な補修にウッドパテを使用しております。
ユニタイプ	縦(長手)方向につなぎ目があります。	ホットメルト	抜け節や死節をホットメルト[P14を参照]で補修(埋める)しております。
巾はぎ	小巾板を接着して巾を広くしたものです。	エンドマッチ	エンドマッチ加工(4面実加工)を施しております。
単板貼り	化粧面に単板を貼っております。	着色	素材の化粧面に塗装で色をつけております。
節有	大～小節が混在しているグレード(一等材)です。	規制対象外	建築基準法(ホルムアルデヒド対策)の規制対象外商品です。
小節込	小節が入ります。	F★★★★	建築基準法(ホルムアルデヒド対策)の認定商品です。
		8H	鉛筆硬度試験8H以上のUV表面強化塗装を施しております。

確 在庫確認商品です。
受 受注製造のため、お問い合わせください。

- 自然木無垢材のため、写真と多少、色・柄が異なることがあります。
- 商品は、予告なしに設計価格を変更する場合がございますので、ご了承ください。
- 国産材の「産地証明」に関しては、別途お問い合わせください。
- 設計価格に運賃、施工費は含まれておりません。

※マーク表記の無い商品は定番商品です。

木材の専門用語集

■木材建築用語

【無垢材】むくざい

貼り合わせた合板や集成材ではなく天然の一枚板。生きているため、条件によっては反りや割れも生じます。ユニタイプもこれに含まれます。⇨集成材

【集成材】しゅうせいざい

製材された板や角材などを乾燥し、縦横方向に接着剤で接着して作る木材。無垢材に比べ、強度や寸法の安定性、耐久性に優れています。⇨無垢材

【ユニタイプ】

ゆにたいぷ

欠点を除去した短い無垢材を、縦方向に接着して長くした材です。



【焼杉】やきすぎ

杉板の表面を焼くことで、表面を炭化させて水分などによる腐食に対する耐久性を増したものです。通気性にも優れ、寒暖の差も和らげてくれます。

【ホルムアルデヒド】ほるむあるでひど

シックハウス症候群の原因となる有害物質。合板や壁紙に含まれていることが多く、揮発性が高く鼻から吸い込むなどしてアレルギー症状が現れることがあります。

【F☆☆☆☆】ふおーすたー

ホルムアルデヒドの検査安全基準の階級で、JASの定める基準でF☆~F☆☆☆☆までの区別があります。ホルムアルデヒドの含有量が最も少ないのがF☆☆☆☆です。なお、無垢材(ユニタイプ含む)は規制対象外です。

【節】ふし

樹幹の肥大成長により、その材中に包み込まれた枝の基部部分です。

【柾目】まさめ

丸太の中心に向かって挽いたときに現れる年輪が平行な木目を示します。表面と裏面で収縮の差が少ないため板目と比べ、反りにくく狂いにくい特性があります。⇨板目

【板目】いため

丸太の中心からずれて挽くと、年輪が山形や筍形の木目が現れ、これを板目といいます。⇨柾目

【赤味(心材)・白太(辺材)】

あかみ(しんざい)・しらた(へんざい)

木材の内部の色が濃い部分を赤味、樹皮に近い周辺部を白太と呼びます。赤味は白太に比べ対朽性があり、白太は赤味に比べて節が少ないので化粧材として重宝します。

【夏目・冬目】なつめ・ふゆめ

春から夏にかけて成長する部分を夏目、秋から冬にかけて成長する部分を冬目と呼びます。夏目は柔らかく、冬目は硬くなります。

【木表・木裏】きおもて・きうら

木を丸太の状態から木材として加工する際、木に表と裏ができます。年輪から外側の面を木表と言い、芯側に面する部分を木裏と言います。一般的に木表の方がツヤがあります。

【元口・末口】もとくち・すえくち

丸太の根元側の切り口を元口、幹の先側の切り口を末口といいます。一般的に建築の際、木が立っていたときのように末口を上に使います。

【入皮】いりかわ

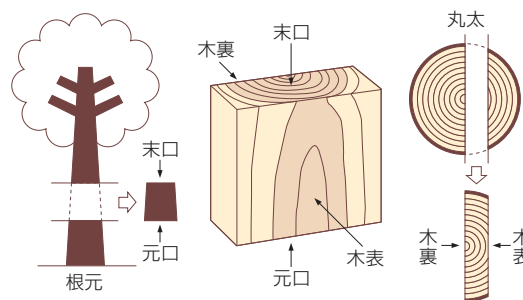
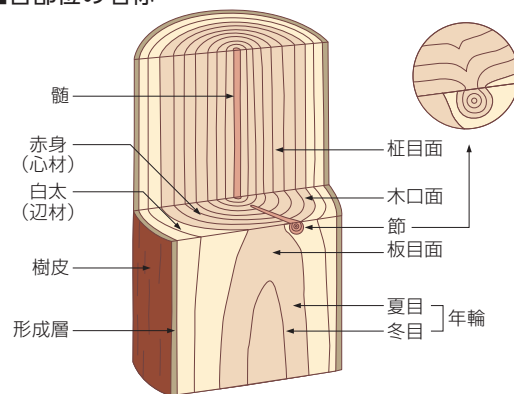
樹木の成長過程において、傷ついた部分の樹皮が巻き込まれた部分を示します。



【ピンホール】ぴんほーる

虫に食害されたもので、小さな針で刺したような穴が空きます。

■各部位の名称



■木材建築用語

【あて】あて

樹木の成長過程において、材が傾いている状態からまっすぐに直る時に発生する組織で、他の部分よりも硬くなっています。



【AD材・KD材】えーでいーざい・けーでいーざい

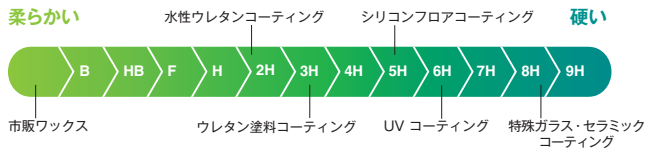
自然乾燥のみの材をAD材、さらに、人工乾燥も施したものをKD材と呼びます。

【軒下天井板】のきしたてんじょういた

軒下(軒裏)に化粧板として張る板のことです。

【鉛筆硬度試験】えんぴつこうどしけん

塗装の皮膜の硬さを測定し塗装皮膜が規定の硬度を有するかを確認する試験です。



【よろい張り】

よろいばり

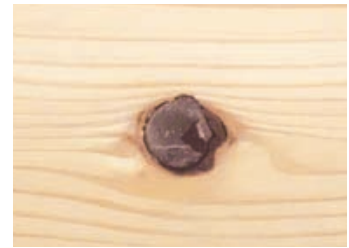
板張りの施工の形で鏝のように段差が生じる張り方です。



【ホットメルト】

ほっとめると

有害成分を含まない接着剤の一種で、死節の補修などに用います。弊社では焼杉、羽目板などに使用しています。

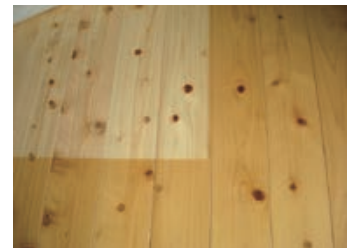


【灰汁】あく

木材の抽出成分で、水分により溶け出していく場合があります。

【日焼け】ひやけ

木材が日に当たり焼けて次第に変色することです。木材固有の性質です。(カーペットや家具等を置く場合はご注意ください。)



■選別基準用語

【特一等】

とくいっとう

JAS規格により定められているもので、節の数に上限がないものです。



【上小節】

じょうこぶし

化粧面において、節の長径が10mm以下で、材長2m未満にあっては3個以内の選別基準です。



【上小無節】じょうこむぶし

JAS規格で定められている上小節以上の材で、弊社オリジナル選別基準です。

【無節】むぶし

長さに関係なく化粧面に節がないものです。なお、九州地方では「無節」に葉節が入ることがあります。



【葉節】はぶし

木根やごく小さい節のことで小黑点、赤褐色点になって化粧面に現れたものを示します。



木材の専門用語集

■加工用語

【羽目板(加工)】

はめいた(かこう)

壁、天井などの部材で仕上げの際に、並べて張り合わせる板。一般的に段差が生じず、目透かしになる実加工です。



【本実加工】

ほんざねかこう

目透かしのできない加工で、一般的にフローリングの加工として多く用いられます。



【目透かし加工】めすかしかこう

実の接合部分上部に、一定の間隔で隙間が開く加工です。

【本実目透かし加工】

ほんざねめすかしかこう

本実加工に目透かしができる加工で、羽目板の加工として多く用いられます。



【エンドマッチ加工】

えんどまっちかこう

長さ方向のつなぎ部分に本実加工がされていることで、四方実加工とも呼ばれています。



【あいじゃくり加工】

あいじゃくりかこう

お互いの板材の厚さを半分ずつ削り取って、相互に張りあわせる実加工です。



【モルダー仕上げ】もるだーしあげ

機械プレーナーを使用して、加工表面をきれいに整える仕上げ方法です。

【埋木・サンダー仕上げ】

うめぎ・さんだーしあげ

化粧面の仕上げのことで、埋木とは抜け節・欠け節の補修に木の枝を加工して埋めたものです。サンダー仕上げとはサンドペーパーで磨いて仕上げる方法です。



【浮造り／とぎだし】うづくり／とぎだし

材の空目を引き立てて見せるために、板表面の夏目と呼ばれる柔らかな部分を磨いて、空目の部分を浮き立つようにした化粧面の仕上げ方法です。



【焼杉浮造り】

やきすぎうづくり

通常の浮造りに比べ、より深く仕上げをしています。



■塗装用語

【フッ素樹脂塗装】ふっそじゆしとそう

屋外では太陽光線による光分解作用・酸化作用・気温の変化による膨張収縮作用などの環境にさらされます。フッ素樹脂は、これらの厳しい環境下において、変化・劣化を起こしにくい特性を持っています。外装材の塗装方法としては最高級のものであります。

【焼杉塗装】やきすぎとそう

弊社オリジナルの塗装方法です。焼杉の風合いを強調させる為、表面から浸透する油性の塗料を使用しております。

【焼杉水性塗装】やきすぎすいせいとそう

希釈剤に水を用いているため、シンナーなどの強い臭いがなく、環境に配慮した塗装です。

【杉羽目板外装用塗装】

すぎはめいたがいそうようとそう

洋風に対応できるように、浸透する油性の塗料で着色した塗装です。

【UV塗装】ゆーぶいとそう

ウレタン塗料に紫外線(UV)を照射することにより、クリアー塗装膜の表面を硬化させ、傷をつきにくくする塗装です。

【UV表面強化塗装】ゆーぶいひょうめんきょうかとそう

弊社オリジナルの塗装方法。特殊な塗装技術で塗装面を硬く仕上げたものです。

【自然塗装】しぜんとそう

アマニ油や紅花油などを主成分としトルエンやキシレンなどの石油化学物質を含まない塗装をいいます。自然塗料をベースにしたオリジナル塗料を使用しています。



地球の温暖化防止に 大きな役割を果たす森林。

地球の温暖化防止には、二酸化炭素の濃度を増加させないことが重要です。その中で、森林は大気中の二酸化炭素を吸収して、長期間にわたって貯蔵するなど大きな役割を果たしています。

例えば、80年生のスギは1ha当たり、約170tの炭素を蓄積しているといわれています。人間1人が呼吸により排出する二酸化炭素は年間約320kgで、これは23本ほどのスギの吸収量に相当します。また、1世帯から1年間に排出される二酸化炭素の量は、スギ人工林0.5ha(スギ460本)の年間吸収量と同じくらいで、日本全国の家から排出される二酸化炭素をすべて吸収するためには、北海道(835万ha)よりも広い面積(870万ha)のスギ人工林が必要です。ちなみに、我が国が1年間に排出している二酸化炭素をすべてスギ人工林で吸収しようとする、日本の面積の4.4倍のスギ人工林(1億6600万ha)が必要です。森を大切にすることが二酸化炭素の循環を促し、地球温暖化を防止することにつながります。

※林野庁、(財)日本木材情報総合センターのデータ参照。

世界3位の森林大国、日本。

日本の森林面積は約2500万haで、国土の約67%を占めています。これは自然豊かな北欧のフィンランドやスウェーデンに次ぐ世界3位の森林面積になり、世界屈指の森林大国ということが分かります。森林面積の内訳は、約5割(約1300万ha)が天然林、約4割(約1000万ha)が人工林、残りが竹林などとなっています。その中でも、利用用途が多いスギが最も多く、全体の18%(450万ha)を占めています。

有数の森林国である一方で、戦後から木材の需要が追いつかなくなったため、比較的安価な輸入材が使われるようになりました。今では約8割が輸入材を使っているのが現状です。日本の森林、ひいては林業全体を荒廃させないためにも、なるべく輸入材に頼らず国産材を活用していくことが大切になっています。

日本の伝統文化を支えてきたスギ。

日本固有種で古くから日本の伝統建築や家具、彫刻、工芸、用具(樽、桶)など幅広く使われてきたスギ。国内で最も多く使われている木材です。材質は、柔らかく加工しやすいのが最大の特徴で、調湿性や耐水性、耐久性も高く、特有の香りがあります。産地としては、南九州から東北地方まで広く分布しており、秋田杉や屋久杉、吉野杉、北山杉などは全国的にも有名です。特に、屋久島に生育する屋久杉(縄文杉)の中には樹齢2500年以上のものもあり、樹齢が長いことでも知られています。また、近年の遺跡調査などから、縄文時代からスギが使われてきたことが分かっており、スギは日本の文化を支えてきたといっても過言ではありません。

“フィトンチッド”で癒し効果。

森の中に入ると、すがすがしい香りがして何か癒される気持ちになったことはありませんか? この香りの正体は、樹木が発散するフィトンチッド(精油成分)という成分があるからです。フィトンチッドは、森を浄化する作用があり、有害な昆虫から身を守るために作られたとされ、殺菌効果や浄化作用があります。桧造りの家には虫がつきにくいというのもヒノキオールなどの殺菌成分を含む精油が含まれているからなのです。柏餅や笹団子などもその効果を食品に応用したものです。また、森林の中で動物が死んでも腐敗臭がしないのはフィトンチッドの抗菌・消臭効果があるからといわれています。

伐採後も1000年生きる高級材のヒノキ。

耐久性に優れていることで昔から神社、仏閣などの建築用材として使用されてきたヒノキ。現在でも家のあらゆる場所に用いられますが、特に建物の寿命に影響する柱や土台によく使われます。現存する最古の木造建築である法隆寺や薬師寺は建造から約1300年経過しているにもかかわらず、今も生き続けています。その秘密は、伐採後から強度を高め、200~300年後には伐採時の約1.3倍になり、それから徐々に強度が落ちて、1000年後にようやく伐採時と同等の強度になるといわれているからです。ヒノキは耐久性・保存性ともに高級な木材として、伐採後も樹齢以上に生き続けるといわれています。

高級建材として利用価値の高いチーク。

なめらかな肌触りと経年による特有の色味が魅力のチークは、マホガニーと並ぶ高級材の1つです。木質は通直で重硬、加工も容易で仕上がりが良く害虫にも強い優れた木材です。

現在では家具や建築材として利用されていますが、昔は主に船舶材として使用され、豪華客船のクイーン・エリザベス2世号の甲板や内装にも使われ、世界各国で高い評価を得てきました。船舶材に適している理由のひとつにチークに含まれている油が鉄の腐食を防ぎ、釘やボルトなどをさびにくくする性質があるからです。木材自体も腐食しにくく、酸や塩、水に強い性質を持っています。タイ、ミャンマー、インドネシアなどが主な産地ですが、自然保護のため伐採制限されている地域も多く、現在では貴重な木材になっています。

フローリングは硬い木材の方が良い!? 比重と木材の特性

無垢フローリングを選ぶ条件は色や樹種、値段などいろいろあると思います。その中でも注目したいのは「硬さ」です。

表-1を見ていただいても分かるように、比重の高い木材がほぼ、硬い木材といえます。硬い木材は、傷が付きにくく丈夫です。一方、比重の低い木材は傷つきやすいという欠点がありますが、空気を多く含み調湿作用が高いため、夏は涼しく冬は暖かい特性があります。また、柔らかい木材は柔軟性に優れ、足腰への負担が軽減される利点もあります。一般的に床材は丈夫な硬い木材を選びがちですが、これらの点から柔らかい木を選ばれる方も増えています。部屋の用途や目的に合わせて床材を選ぶことが大切になります。

表-1

材種(産地)	硬さのレベル	気乾比重(平均値)
ベイスギ	1	0.35
杉(国産)	1	0.38
桧(国産)	2	0.41~0.45
ケヤキ	2	0.47~0.69
カバノキ	3	0.5~0.69
クリ	3	0.55
チーク(南洋)	3	0.57~0.69
ブラックウォールナット	4	0.63
ホワイトオーク	4	0.68~0.75

※当社試験データ

フローリング材として最適なナラ。

褐色の淡い色合いで虎斑(とらふ)と呼ばれる木目が美しく、堅く強度があるので家具やフローリング材として人気が高い高級木材です。一方で、材が重硬であるため、切削などの加工は困難で、乾燥しにくく、割れやすいという面もあります。日本では北海道の平地から本州の比較的標高の高い所に広く分布していますが、現在残っているミズナラ林はかつて伐採された二次林が多く、家具に使われるような大きな木が残っている森は少なくなっています。